

会館の歩みと建館の精神

熊本県青年会館は、熊本県青年団協議会が中心となり、自主的な建設運動のなかで誕生した青年の殿堂です。

会館建設は長い間の志願でありましたが、昭和50年代に入り県下各地域の青年団において、山の下草刈・廃品回収等の青年による1億円募金運動が展開され、各界各層のご支援を受け、昭和58年4月24日竣工、落成の運びとなりました。

この館は、県下青年が青春を賭けた汗と涙の結晶であり、関係各機関各位からの青年への限り無き期待が一体となり、魂として宿した館です。

これからも、その魂が脈々生き続け建館の精神となり、明日の熊本、そして日本の力強い担い手を輩出していく館として、未来永劫に受け継がれていくことを祈念します。

昭和58年 4月24日

財団法人 熊本県青年会館

熊本県青年会館の施設概要

所在地	熊本市水前寺3丁目17番15号		
敷地面積	2,643.53m ²		
構造	鉄筋コンクリート5階建		
延床面積	1,791,875m ²		
財源	熊本県補助金 1億円	市町村補助金 約5千万円	(財)日本船舶振興会補助金 1億460万円
	企業、団体寄附 約2千万円	募金 1億1千万円	
総工費	建設費備品費を含め約4億円		
完成	昭和58年4月		